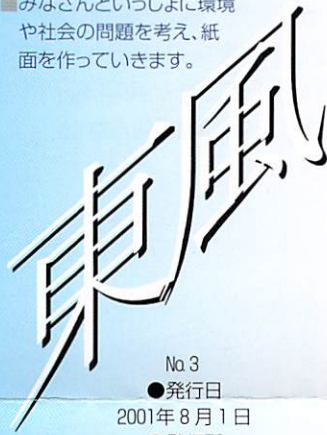


### ■平尾台

南北11km、東西2km、  
海拔約500mの広大な  
カルスト台地で、石灰  
地特有の植物が生え  
るなだらかな草原には、  
羊が草を食むように  
石灰岩塊が見え隠れし、  
「羊群原（ようぐんば  
る）」とも呼ばれている。  
特に石灰岩が若草に  
映える春とススキが  
ゆれる秋が良く、一帯  
はハイキングの絶好地。



■みなさんといっしょに環境  
や社会の問題を考え、紙  
面を作っていきます。



No.3

●発行日

2001年8月1日

●発行所

小倉東総合法律事務所

●編集者

荒牧啓一

●連絡先

〒802-0062 北九州市小倉北区

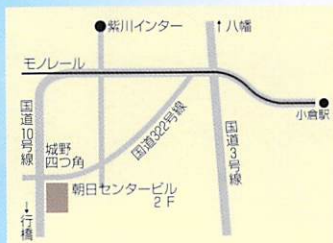
片野新町2丁目12番21号

朝日センタービル2階

TEL093(932)5575

FAX093(932)5600

e-mail:ponpoko@lime.ocn.ne.jp



## 暑中お見舞い申し上げます

21世紀初頭の今年、世界湖沼会議が  
滋賀県で開かれます。

以前、琵琶湖の近くに住んでいました。  
滋賀県の面積の6分の1を占める母なる  
湖は伊吹・鈴鹿の山々からの水が集  
まり、そして瀬田川、宇治川、淀川と名  
を変えながら大阪湾に注ぐ、近畿近隣  
1400万人の命の水源地。

そんな琵琶湖周辺では、夏の行事と  
いえば「湖水浴」。そう!海じゃないか  
らしょぱくない!目を開けても平気。  
日焼けも塩水ほどじゃない。ちゃんと  
波打ちぎわだって、砂浜だってあるの  
です。キャンプも花火も釣りもみんな  
琵琶湖!またきらきらと輝く穏やかな  
波間にのんびりと帆を浮かべるヨット  
のさまも風情ゆたかです。

その琵琶湖で、もう15年近く前にな  
ると思いますが、どんなに重い障害を  
持つ子ども達も、豊かに生きていける  
環境の整備を願って、そして障害の重

い子どもが大事にされる世の中こそ、  
すべての人間が大切にされる社会な  
のだというメッセージを伝えようと、琵  
琶湖を人・人・人でとり囲もうというイ  
ベントがありました(しかし一口に琵琶  
湖を囲むといってもそれはそれは琵琶  
湖はおおきいのだ!)

「抱きしめて!びわ湖」と銘打たれた  
この人間の鎖は、湖上の船も参加し、  
大人も子どもも老人も、車椅子の人達  
も知的障害を持つ人も精神障害を持  
つ人たちも、みんなが心ひとつに手をつ  
ないで大成功に終わりました。

子ども達の、人間の限らない発達を  
保障する環境の整備、そしてたった50  
数年の間に環境破壊で危機に瀕する  
世界最大級の古代湖「琵琶湖」の為に、  
私達に今できることは何だろう…。

九州に戻って11回目の夏。

諫早湾や有明海からも琵琶湖と同じ  
悲鳴が聞こえています。

## 世界各地で続く環境破壊

7月に入ってから北九州は連日夏日が続いている。今年の夏も猛暑になりそうである。必ずしも地球温暖化とは直結しないかもしれないが、地球が暑くなっている感じがする。

地球温暖化防止へ向けた温室効果ガス排出規制への第一歩である京都議定書は、米国のブッシュ大統領の離脱決定で死にかけている。

北九州に住むようになって20年近くになる。住めば都ということもあるかもしれないが、段々北九州が好

きになってきた。海岸線が長く、海の自然に恵まれ、他方、福知山、足立山、風師山そしてカルスト台地である平尾台等山の自然にも恵まれている。

昔の日本の四大重工業地帯というイメージは変わりつつある。中学生の頃、鹿児島本線から見た巨大煙突から排出される七色の煙に、妙に「感動」した記憶があるが、今や北九州市は「公害を克服した街」である。

しかし、大気汚染による喘息で苦しんでいる方がまだ多数いることも忘れてはならない。

曾根干潟の沖合いでは北九州空港の開港のための工事が急ピッチで行われている。若松の白島、ここは渡り鳥の休憩基地でもあったし、近くには豊かな漁場も



あった。しかし現在は世界でもはじめての洋上石油備蓄基地となって560万キロリットルの原油を備蓄する施設がある。石油公団は年内にはなくなる様であるが、莫大な維持費は誰が負担するのであろうか。定期点検の為、船内の原油を洗った海水を排出する為、付近の漁獲高は激減していると聞く。

カザフスタンのアラル海の例（広大な砂漠に水を引いて豊かな穀倉地帯に変える壮大なゆめ）自然大改造計画の結果、その水位が15m下がり面積はざっと半分に縮んだ（2001年7月1日、朝日新聞 旅する記者 縮む海）や貴重な干潟をつぶして農地を造成し、有明海を死滅させた諫早湾干拓の例を教訓としなければならない。



若松区沖の響灘に建設された白島石油備蓄基地

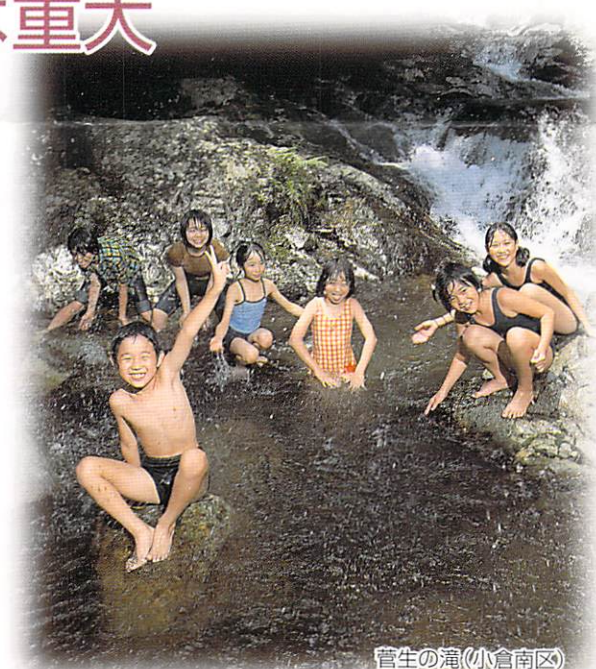
## 未来の子たちへ責任は重大

小倉を流れる紫川も好きな川のひとつである。最近では早春の頃、シラウオが産卵の為に上がってくるという。紫川に橋をかけ、護岸を整備して人口の「洲浜ひろば」等をつくることは「自然を生かした川づくり」や「ほたるのふるさとづくり」といった活動と矛盾するのではないか。

最近では米のとぎ汁が水質汚染を起こし赤潮の原因となるらしい。下水道の完備によってそれまで土に吸い取られ浄化されていたのが、そのまま海に流れ込むことが原因である。

自然を維持することは難しい。

「問題の根底には道義的責任があります。自分の世代ばかりでなく、未来の世代に対しても責任を持つ事。彼らは現代の私達が下す決断に意見を差しはさめないのですから、私達に課せられた責任は極めて重大です」（レイチェル・カーソン 遺稿集 「失われた森」 集英社）。



菅生の滝(小倉南区)

## 佐藤光政コンサート



トが開かれます。クラシック音楽のみならずポピュラー音楽、オペラと幅広いレパートリーで熱唱するエンターテナーのステージを是非どうぞ！チケット取り扱い中。

来る9月6日19時より、響ホールにて国民救援会北九州支部結成20周年記念企画として、佐藤光政コンサート

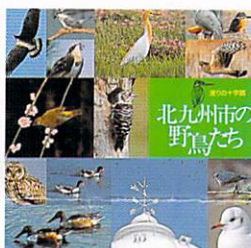
information  
information  
information

新 鮮 情 報

## 「北九州市の野鳥たち」

財団法人北九州市協会の発行  
1200円

北九州市は渡りの十字路口。毎年渡り鳥の季節になると北九州市には多種多様な野鳥たちが新しい季節の風を運んで飛来してきます。



この冊子は、北九州市で見られる野鳥達の紹介だけにとどまらず、この本片手に野鳥観察

に出かけられるよう構成されています。

野鳥を通して北九州市の豊かな自然を再発見し、よりよい環境づくりを考えてみませんか。

## 町でよくみかける「年金センター」なる看板。

一見、「年金」とくれば公的機関と関係があるかのような錯覚を持ちますが、違法に年金・児童扶養手当などを担保に高利で貸付をする金融業者です。一度借りると、利息が高いためなかなか終わらず、その間年金はいいようにとられっぱなし。

年金は命綱！簡単に手放さないで！

なかなか出会えない  
しんり  
真理ちゃん

岩 猿 孝 広



3人の人間に同じものを見せたあと、どんな形をしていたかを訊ねてみた。Aが「まんまる。円形だった」と断言すると、Bが「バカじゃん。長方形だよ」。するとCが軽蔑したように「二人とも何を見てたの？ 楕円形でしょ。あなた達、変よ」

見せたものは、茶筒であった。円柱だから上から見たAには円形に、横から見たBには長方形に、斜め上から見たCには楕円形に見えたわけで、それぞれの見た事実である。これは事実と真理との関係を説明するときのたとえ話のひとつである。

事実イコール真理とは限らないのだが、自分が一つの角度から見た事実をそのまま真理と把握するから、たくさんの事実裏付けられたたくさんの「真理なるもの」が存在してしまうことになる。人間社会は、この紛いものの真理がぶつかり合って揉め事が起こる。

私の住む千葉県富里町日吉台は、京成成田駅南側の里山を開発造成した新興住宅地である。100haほどの地域に12000人ほどが住んでいる。富里町の人口は約5万人。来春には富里市になるそうである。

昭和53年に日吉台を開発した業者は、この100haの土地に「真空ゴミ輸送施設」を設置した。真空といっても電気掃除機の原理を応用したもので、スウェーデンで開発されたゴミ収集システムである。日吉台では68箇所のゴミポストに投棄されたゴミを地下に埋設した直径50cmの輸送管を通して収集センターまで吸引している。そこからは町のゴミ回収車でクリーンセンターまで運び処理する。ゴミは1日3回

の投入可能時間に合わせていつでも捨てられるという利便性はあるし、生ごみが地上に出ないから、カラスも見かけず清潔を保っている。しかし一方、この施設を維持管理するためには日吉台住民は町税の他に月3600円の維持管理費を納めなければならない。

このゴミ処理システムは現在、全国では横浜みなとみらい21や筑波研究学園都市など10数カ所で稼働しているが、大半が国のモデル事業として始められたもので、個人ビルを除いていずれも地方公共団体が管理している。しかるに日吉台においては、開発業者が倒産したのち、住民が「共有施設管理組合」を結成し、町への移管を求めながらも16年間も自主管理を続けている。

年間1億3～4000万円の管理費収入があるが、業務委託費や補修工事費の合計支出は収入を上回っている。もう止めようという人もいれば、修繕積立金(家の所有者となった時に18万円納付)が続く限りは続けようという人もいる。町は「この施設は当初から地域住民が管理義務を負っている」と、移管拒否の回答を寄こす。3000万円近く発生している未収金問題や、ゴミポストは使いたくないという店舗経営者対策のために弁護士に相談しながら日常の維持管理を続けている。

町も住民も、いろいろな人間が、それぞれの「真理なるもの」を振りかざして主張する。解決へと導く一つの真理はなかなか見えてこない。そこで、私は狭い地域社会のなかで苛立ち、とりあえず「真理(まり)ちゃん」でも探してみるかと、夜の街へ出てみたくなるよ。

## ●岩猿氏紹介

1951年福岡県田川郡生まれ。福岡県立田川高校、早大演劇専攻卒。1978年「信号機の向こうへ」で第46回文学界新人賞受賞。作品に「ひとでなし魚」「鉄格子を着せられて」等。子育てをしながら地域活動に従事してきた。